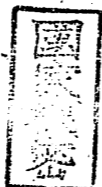


(58)



五部ノ内ニ號

對米英蘭蔣戰爭終末促進委員會

三國スル協業

昭和十六年十一月一日
連絡會議決定案

S 1.7.0.0 - 51

462

(59)



1931

今次戰爭ノ停戦並ニ平戦時ノ分界時期ニ行テ

昭和十六、一七、一八、一九
大本營政府連署會議案

決定

一 今次ノ對米英戰爭及今後情勢ノ推移ニ伴ヒ生起スルコトアルヘキ戰
争ハ支那事變ヲモ含メ大東亞戰争ト呼稱ス
二 給與、懲罰、刑罰ノ適用等ニ關スル平時、戰時ノ分界時期ハ昭和十
六年十二月八日午前一時三十分トス

三 連年ノ作戦スル地域小國ヨリ戰地トシテ帝國領土(南洋羣島委任統治
區域ヲ除ク)ハ差當リ戰地ト指定スルコトナシ
但シ帝國領土ニ在リテハ第二號ニ關スル個々ノ問題ニ付其地ノ状態
ヲ考慮シ戰地並ニ取扱フモノトス

S 1.7.0.0 - 51

461

REEL No. A-1213

0508

アジア歴史資料センター

方針

一、速ニ極東ニ於ケル米英蘭ノ根據ヲ覆滅シテ自存自衛ヲ確立スルト
共ニ蔣政權ノ屈服ヲ促進シ且獨伊ト提携シ先ツ英ノ屈伏ヲ圖リ
イテ米ノ繼戰意志ヲ喪失セシムルニ勉ム
ニ、極力戰爭對手ノ擴大ヲ防止ス

要領

一、帝國ハ迅速ナル武力戰ヲ遂行シ東亞及南西太平洋ニ於ケル米英蘭
ノ根據ヲ覆滅シ戰略上優位ノ態勢ヲ確立スルト共ニ重要資源地域
並主要交通線ヲ確保シテ長期自給自足ノ態勢ヲ整フ
凡有手段ヲ盡シテ適時米海軍主力ヲ誘致シ之ヲ覆滅スルニ勉ム
ニ、日獨伊三國協力シテ先ツ英ノ屈伏ヲ圖ル

(一) 帝國ハ左ノ諸方策ヲ執ル

- (1) 濠洲印度ニ對シ政略及通商破壊等ノ手段ニ依リ英本國トノ連
鎖ヲ遮斷シ其ノ離反ヲ策ス
- (2) 「ビルマ」ノ獨立ヲ促進ス
- (3) 獨伊ヲシテ左ノ諸方策ヲ執ラシムルニ勉ム
 - (イ) 近東、北阿、「スエズ」作戰ヲ實施スルト共ニ印度ニ對シ施
策ヲ行フ
 - (ロ) 對英封鎖ヲ強化ス
 - (ハ) 情勢之ヲ許スニ至ラハ英本土上陸作戰ヲ實施ス

(目) 三國ハ協力シテ左ノ諸方策ヲ執ル

(イ) 印度洋ヲ通スル三國間ノ連絡提携ニ勉ム

(ロ) 運商船隻戰ヲ強化ス

(ハ) 占領地資源ノ對英流出ヲ禁絶ス

三日獨伊ハ協力シ對英措置ト並行シテ米ノ戰意ヲ喪失セシムルニ勉ム

(ニ) 帝國ハ左ノ諸方策ヲ執ル

(イ) A、比島ヲ米ヨリ離反獨立セシム

B、比島ノ取扱ヒハ戰爭終末促進ニ資スル如ク考慮ス

C、比島ニ關シテハ筋レサルコト

(ロ) 對米通商破壞戰ヲ徹底ス

(ハ) 支那及南洋資源ノ對米流出ヲ禁絶ス

(ニ) 對米宣傳謀略ヲ強化ス

其ノ重點ヲ米海軍主力ノ極東ヘノ誘致並米極東政策ノ反省ト日

米戰無意義指摘ニ置キ米國輿論ノ厭戰誘發ニ導ク

(イ) 米露關係ノ離隔ヲ圖ル

(ロ) 獨伊ヲシテ左ノ諸方策ヲ執ラシムルニ勉ム

(ハ) 太平洋方面ニ於ケル對米海上攻勢ヲ強化ス

(ニ) 中南米ニ對スル軍事、經濟、政治的攻勢ヲ強化ス

四支那ニ對シテハ對米英蘭戰爭特ニ其ノ作戰ノ成果ヲ利導シテ援蔣ノ

禁絶、抗戰力ノ流殺ヲ圖リ政戰略ノ手段ヲ積極化シ以テ重慶政權ノ

支那對米ノ把柄、南洋華僑ノ對米關係

屈伏ヲ促進ス

五帝國ハ南方ニ對スル作戰間極力對「ソ」戦争ノ惹起ヲ防止スルニ勉

獨「ソ」兩國ノ意圖ニ依リテハ兩國ヲ離和セシメ「ソ」ヲ樞軸側ニ

引キ入ルルコトヲ考テ他國ノ意向ハ如何ナルハ不明ナリ然レモ常時戰局ノ推移、國際情勢、敵國民心ノ動向等ニ對シ嚴密ナル監視

考察ヲ加ヘツツ戦争終結ノ爲左記ノ如キ機會ヲ捕捉スルニ勉ム

イ、南方ニ對スル作戰ノ主要段階

ロ、支那ニ對スル作戰ノ主要段階ニ蔣政權ノ屈伏

ハ、歐洲戰局ノ情勢變化ノ好機特ニ英本土ノ没落、獨「ソ」戰ノ

6 1.7.0.0 - 51

467

終末、對印度施策ノ成功

之カ爲速ニ南米諸國、瑞典、葡國、法王國等ニ對スル外交並宣傳ノ

施策ヲ強化ス

日獨伊三國ハ英ノ屈伏ニ際シ之ト直ニ媾和スルコトナク英ヲシテ米

ヲ誘導セシムル如ク施策スルニ勉ム

對英政策ハ英ノ屈伏ニ際シ之ト直ニ媾和スルコトナク英ヲシテ米ヲ誘導セシムル如ク施策スルニ勉ム

6 1.7.0.0 - 51

468